Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

男女が共にいきいきと暮らす社会づくりに向けて、区民の意識や女性の置かれている実態を総合的に把握するとともに、今後の施策や新たな計画策定の基礎資料とする。

２　調査の設定内容

（１）調査地域　世田谷区全域
（２）調査対象　平成 26 年 9 月 1 日現在区内に在住する 20 歳以上 70 歳未満の男女（個人）
（３）標本数　　3,000
（４）抽出方法　層化二段階無作為抽出（区の電算による抽出）
（５）調査方法　郵送配布、郵送回収
（６）調査期間　平成 26 年 10 月 10 日～10 月 24 日
（７）調査機関　株式会社　アストジェイ

３　調査の項目

（１）家庭生活と家族観
（２）労働・職場
（３）仕事と子育て
（４）介護
（５）ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）
（６）社会参加・参画
（７）「男女共同参画センター“らぷらす”」について
（８）男女平等観
（９）男女共同参画社会の実現に向けて
(10) ワーク・ライフ・バランス
(11) 防災
(12) 男性相談
(13) 性的マイノリティ（性的少数者）

４　回収結果

（１） 全体回収結果

	全　体	女　性	男　性
標本数	3,000	1,500	1,500
有効回収数	1,385	810	558
回収率	46.2%	54.0%	37.2%
未回収数	1,615	690	942

５　報告書の見方

（１）　集計は小数第２位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%ちょうどにならず、１%の範囲で増減することがある。

（２）　回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数ｎとして算出した。したがって複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。

（３）　本文やグラフ･数表上の選択肢表記は､場合によっては語句を簡略化してある。

（４）　ｎ（Number of Cases の略）は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示す。

（５）　クロス結果の帯グラフや表について､「性別：無回答」または表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、表側のカテゴリーの件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

（６）　クロス集計による分析では､分析軸の項目のうち､件数が30未満の項目については、全体結果と比率に大きな差がある選択肢があっても、本文中ではふれていないことがある。

（７）　標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（ｎ)、②回答の比率（Ｐ）によって誤差幅が異なる。

$$b = 2\sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ｂ　＝標本の誤差
Ｎ　＝母集団数
ｎ　＝比率算出の基数
Ｐ　＝回答の比率

今回の調査結果の場合、誤差および信頼の範囲は表５－１のとおりであり､「ある設問の回答者数が1,385人で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも±3.72%（57.72%～62.28%）である」というようにみる。

表５－１　標本誤差一覧表

回答比率（Ｐ）／回答者数（ｎ）	10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
1,385	± 2.28	± 3.04	± 3.48	± 3.72	± 3.80
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
800	± 3.00	± 4.00	± 4.58	± 4.90	± 5.00
500	± 3.79	± 5.06	± 5.80	± 6.20	± 6.32
200	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	±10.00
100	± 8.49	±11.31	±12.96	±13.86	±14.14

注）$\frac{N-n}{N-1}=1$として計算した。

６　質問と回答

以下の数値は、ｎは実数、回答はｎを基にしたパーセンテージで表示している。

【 はじめに、あなた自身のことについておたずねします。 】

Ｆ１　あなたの性別は？

	全　体
全　体	1,385
1. 男性	558
2. 女性	810
3. その他	0
無回答	17

Ｆ２　あなたのお歳はおいくつですか。

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 20～24歳	4.5	4.8	4.3
2. 25～29歳	4.9	5.4	4.3
3. 30～34歳	9.4	9.9	9.0
4. 35～39歳	13.5	14.8	12.0
5. 40～44歳	13.7	13.5	14.5
6. 45～49歳	13.8	14.6	13.1
7. 50～54歳	13.4	13.1	14.2
8. 55～59歳	10.7	10.2	11.5
9. 60～64歳	7.4	6.8	8.6
10. 65～69歳	7.2	6.7	8.2
無回答	1.4	0.2	0.4

Ｆ３　あなたは結婚していますか。

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. している（事実婚を含む）	66.3	65.4	69.4
2. していない（離別・死別など）	9.1	10.1	7.9
3. していない（未　婚）	22.7	23.5	22.2
無回答	1.9	1.0	0.5

＜Ｆ３で「１．している（事実婚を含む）」とお答えの方に＞

Ｆ３－１　あなたの世帯は、共働きですか。

	全　体	女　性	男　性
全　体	918	530	387
1. 共働き	49.5	50.8	47.8
2. 夫だけ働いている	42.4	40.0	45.5
3. 妻だけ働いている	2.0	2.3	1.6
4. 夫婦とも無職	5.8	6.2	5.2
無回答	0.4	0.8	0.0

Ｆ４　お子さんはいらっしゃいますか。

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. いる	57.0	57.8	57.3
2. いない	37.2	37.7	37.6
無回答	5.8	4.6	5.0

＜Ｆ４で「１．いる」とお答えの方に＞

Ｆ４－１　一番下のお子さんは、おいくつですか。

	全　体	女　性	男　性
全　体	789	468	320
1. 1 歳未満	6.1	5.6	6.9
2. 1 ～2 歳	9.4	11.5	6.3
3. 3 歳～小学校入学前	12.2	9.8	15.6
4. 小学生	14.3	13.5	15.6
5. 中学生	8.6	9.0	8.1
6. 高校生	6.6	7.5	5.3
7. 短大・各種学校・大学・大学院生	11.2	11.1	10.9
8. 社会人	29.5	29.9	29.1
9. その他	2.2	2.1	2.2
無回答	0.0	0.0	0.0

Ｆ５　あなたの世帯は、このように分類した場合、どれにあたりますか。ご自分の立場（自分が親、自分が子ども）にかかわらず、世帯構成をお答えください。

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. ひとり暮らし	15.5	15.3	16.3
2. 夫婦のみ（一世代家族）	22.5	21.7	24.4
3. 親と未婚の子ども（核家族）	43.2	45.3	41.4
4. 親と子ども夫婦（二世代家族）	8.2	7.8	9.1
5. 親と子ども夫婦と孫（三世代家族）	4.3	4.2	4.5
6. その他	4.3	4.7	3.9
無回答	1.9	1.0	0.4

【家庭生活について】

問１　あなたは、（ア）～（ク）にあげることをどの程度おこなっていますか。

		全体	いつもしている	わりとよくやる	ときどきする	ほとんどしない	まったくしない	無回答
(ア)食事のしたく	全 体	1,385	44.7	12.4	16.5	15.5	9.4	1.5
	女 性	810	67.9	12.6	10.4	6.9	1.7	0.5
	男 性	558	12.2	12.5	25.8	28.5	20.6	0.4
(イ)食料品・日用品の買い物	全 体	1,385	46.4	20.6	21.3	7.1	3.0	1.5
	女 性	810	66.8	17.8	10.7	3.1	1.0	0.6
	男 性	558	18.1	25.3	37.3	13.1	6.1	0.2
(ウ)洗濯	全 体	1,385	50.0	13.6	12.3	11.6	10.5	2.0
	女 性	810	72.6	12.8	7.5	3.7	2.6	0.7
	男 性	558	18.6	15.2	19.5	23.3	22.0	1.3
(エ)部屋の掃除	全 体	1,385	34.9	19.9	28.1	11.0	4.3	1.8
	女 性	810	52.5	22.7	19.4	4.2	0.7	0.5
	男 性	558	10.6	16.1	41.6	21.1	9.5	1.1
(オ)風呂やトイレの掃除	全 体	1,385	33.1	21.1	25.6	11.0	7.5	1.7
	女 性	810	47.3	22.8	21.5	4.3	3.2	0.9
	男 性	558	13.4	19.0	32.3	21.0	14.0	0.4
(カ)庭や玄関周りの掃除	全 体	1,385	20.9	11.6	30.3	21.4	13.9	1.9
	女 性	810	30.7	13.0	32.1	14.9	8.4	0.9
	男 性	558	7.3	9.9	28.5	31.2	22.2	0.9
(キ)ゴミ出し	全 体	1,385	50.5	16.8	15.5	8.2	7.1	1.9
	女 性	810	60.5	15.4	10.9	7.3	4.6	1.4
	男 性	558	37.5	19.0	22.6	9.9	10.9	0.2
(ク)町内会や自治会への出席	全 体	1,385	4.0	3.5	7.0	17.3	66.0	2.2
	女 性	810	4.3	3.0	6.4	19.4	65.3	1.6
	男 性	558	3.8	4.3	7.9	14.7	68.8	0.5

＜既婚（事実婚を含む）の方のみ回答＞

問２　あなたは、収入の得られる労働や、家庭内における家事・育児・介護などに１日平均どのくらい時間をあてていますか。それぞれについて、平日・休日に分けて該当する時間数の番号を□の中に記入してください。

【収入の得られる行動】

	全　体	女　性	男　性
全　体	918	530	387
1. ほとんどしない	23.2	35.3	6.5
2. 15分くらい	0.2	0.4	0.0
3. 30分くらい	0.5	0.8	0.3
4. 1 時間くらい	0.8	0.9	0.5
5. 2 ～3 時間くらい	3.1	4.5	1.0
6. 4 ～5 時間くらい	7.2	11.3	1.6
7. 6 ～7 時間くらい	10.6	13.8	6.2
8. 8 時間以上	47.8	22.6	82.4
無回答	6.6	10.4	1.6

【家庭内の家事・育児・介護など】

平日

	全　体	女　性	男　性
全　体	918	530	387
1. ほとんどしない	15.6	1.3	35.1
2. 15分くらい	4.9	1.1	10.1
3. 30分くらい	9.5	1.5	20.4
4. 1 時間くらい	11.7	7.0	18.1
5. 2 ～3 時間くらい	20.9	29.4	9.3
6. 4 ～5 時間くらい	15.8	26.0	1.8
7. 6 ～7 時間くらい	6.8	11.3	0.3
8. 8 時間以上	12.1	20.8	0.3
無回答	2.8	1.5	4.7

休日

	全　体	女　性	男　性
全　体	918	530	387
1. ほとんどしない	5.0	0.9	10.6
2. 15分くらい	2.7	0.4	5.9
3. 30分くらい	5.3	0.4	12.1
4. 1 時間くらい	14.3	6.8	24.5
5. 2 ～3 時間くらい	26.6	26.2	26.9
6. 4 ～5 時間くらい	18.5	25.8	8.5
7. 6 ～7 時間くらい	8.5	12.8	2.6
8. 8 時間以上	16.3	24.9	4.7
無回答	2.7	1.7	4.1

問３　最近では、家族のあり方が大きく変化しており、結婚や出産、男女の役割などに対する考え方も多様化してきています。次にあげる考えについて、あなたはどう思いますか。（○はそれぞれ１つずつ）

		全体	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
（ア）結婚する、しないは個人の自由である	全体	1,385	71.1	21.4	5.6	0.6	1.2
	女性	810	72.0	21.2	5.1	0.5	1.2
	男性	558	69.4	22.0	6.6	0.9	1.1
（イ）未婚の女性が子どもを産み育てるのもひとつの生き方だ	全体	1,385	44.1	31.3	17.4	6.0	1.2
	女性	810	43.8	31.7	18.3	5.1	1.1
	男性	558	44.6	31.2	16.1	7.0	1.1
（ウ）「結婚しても、子どもは持たない」というのもひとつの生き方だ	全体	1,385	51.8	30.2	11.4	5.2	1.4
	女性	810	54.4	30.6	10.4	3.2	1.4
	男性	558	47.8	29.9	12.9	7.9	1.4
（エ）話し合いを経た上で、最終的に子どもの数や出産間隔を決めるのは女性である	全体	1,385	18.4	38.3	23.0	18.8	1.5
	女性	810	19.1	40.0	22.8	16.4	1.6
	男性	558	16.7	36.0	23.5	22.6	1.3
（オ）女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい	全体	1,385	18.1	37.6	22.9	19.9	1.6
	女性	810	12.0	36.2	26.8	23.6	1.5
	男性	558	27.1	39.8	17.6	14.0	1.6
（カ）女の子も、経済的自立ができるように育てるのがよい	全体	1,385	59.1	36.9	2.0	0.9	1.1
	女性	810	62.7	34.7	1.1	0.5	1.0
	男性	558	53.8	40.5	3.0	1.6	1.1
（キ）男の子も、家事ができるように育てるのがよい	全体	1,385	58.1	37.0	3.2	0.6	1.1
	女性	810	63.3	33.2	1.7	0.6	1.1
	男性	558	50.5	42.5	5.4	0.7	0.9
（ク）男の子も女の子も同じ程度の学歴を持つ方がよい	全体	1,385	60.4	30.6	5.6	2.2	1.2
	女性	810	61.6	30.4	5.7	1.4	1.0
	男性	558	58.8	30.8	5.6	3.6	1.3
（ケ）父親はもっと子育てに関わる方がよい	全体	1,385	53.6	41.0	3.4	0.8	1.2
	女性	810	56.9	38.5	2.8	0.5	1.2
	男性	558	48.6	44.8	4.3	1.3	1.1
（コ）子育てには地域社会の支援も必要である	全体	1,385	59.8	34.9	3.0	1.0	1.3
	女性	810	63.2	32.6	2.5	0.5	1.2
	男性	558	54.7	38.7	3.6	1.8	1.3
（サ）子どもや経済的な不安がなければ、結婚がうまくいかない場合、離婚してもかまわない	全体	1,385	40.7	36.0	15.7	6.2	1.4
	女性	810	47.7	34.3	12.0	4.6	1.5
	男性	558	30.1	38.9	21.1	8.6	1.3
（シ）子どもや経済的な問題にかかわらず、結婚がうまくいかない場合、離婚してもかまわない	全体	1,385	21.4	35.5	32.0	9.7	1.5
	女性	810	23.3	38.4	29.5	7.5	1.2
	男性	558	18.1	31.5	35.7	12.9	1.8
（ス）家族のために自分が犠牲になるのは耐えられない	全体	1,385	9.0	25.5	42.7	21.4	1.4
	女性	810	11.1	32.5	38.6	16.3	1.5
	男性	558	5.7	15.6	48.9	28.7	1.1
（セ）自分の仕事のために、女性が単身赴任するというのもひとつの生き方だ	全体	1,385	27.5	38.7	23.4	9.1	1.3
	女性	810	29.3	38.0	23.2	8.3	1.2
	男性	558	24.9	39.6	24.0	10.2	1.3
（ソ）家事は女性の仕事だから、共働きでも女性がする方がよい	全体	1,385	2.1	10.7	40.9	45.1	1.3
	女性	810	1.6	7.9	39.8	49.4	1.4
	男性	558	2.9	14.9	42.5	38.7	1.1
（タ）家庭や職場において、男性は女性以上に責任を負っている	全体	1,385	16.4	38.4	24.4	19.4	1.4
	女性	810	14.7	37.5	26.4	20.0	1.4
	男性	558	18.8	39.6	22.0	18.3	1.3
（チ）「男は仕事、女は家庭」という考え方には共感する	全体	1,385	4.0	21.4	31.1	42.2	1.3
	女性	810	3.7	19.3	29.1	46.5	1.4
	男性	558	4.1	24.7	34.2	35.8	1.1

問４　一人の女性が生涯に産む子どもの平均数（合計特殊出生率）は、１．４３人（平成２５年厚生労働省人口動態統計）と低水準に留まっています。少子化の原因は何だと思いますか。（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 将来の社会状況を考えると、明るい未来とはいえないから	25.0	21.2	30.6
2. 出産・子育てが女性の自立の障害になっているから	24.3	26.9	20.3
3. 子育てよりも自分たちの生活を楽しみたいと考える人が増えたから	27.8	24.0	33.9
4. 結婚しても子どもは特に持たないという考えの人が増えたから	9.4	8.9	10.4
5. 女性の結婚年齢が高くなったから	45.6	50.7	38.0
6. 経済的負担が大きいから	53.9	51.2	57.5
7. 子育てのための肉体的負担が大きいから	5.1	5.2	4.8
8. 子どもをどのように育てるべきかなど、子育てのための精神的な負担が大きいから	5.1	5.3	5.0
9. 少ない人数で十分に手をかけて育てたいという人が増えたから	9.9	12.8	5.7
10. 子どもを育てるということに魅力を感じていない人が増えたから	8.5	6.8	10.9
11. 住宅事情がよくないから	7.4	5.7	9.9
12. 保育施設、育児休業の制度などが十分整っていないから	41.0	42.7	38.5
13. 育児に対する男性（夫）の理解や協力が足りないから	8.5	11.7	3.8
14. その他	7.5	7.9	6.8
15. わからない	1.7	2.2	1.1
無回答	1.2	1.2	1.1

問５　身近な地域における大人と子どもの交流の機会・場として、どのようなものが望ましいと思いますか。（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 大人と子どもが一緒に遊んだり、スポーツをしたりできる機会	49.6	43.6	58.6
2. 大人と子どもが一緒になって自主的な活動ができる機会	32.1	31.6	33.0
3. 大人が子どもの宿題をみたり、勉強を教えたりする機会	13.0	13.6	12.0
4. 様々な活動を通じて子どものしつけをしてくれる場	27.9	27.5	28.5
5. 子どもが仕事場を見学したり、模擬体験できる機会	29.2	29.4	28.9
6. 大人と子どもが、日常的に気の向いた時にお互いが立ち寄れる場所	29.0	32.3	24.4
7. 大人と子どもが、思いきり体を動かすことができる場	28.7	26.9	31.5
8. 子どもや親の話し相手になったり、気軽な相談のできる場	30.0	35.7	21.7
9. その他	3.5	4.0	2.9
10. 特にない	2.5	2.0	3.2
11. わからない	3.2	3.6	2.7
無回答	1.4	1.2	1.4

【労働・職場】

問６　あなたの職業は次のどれですか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 自営業・経営者	6.6	3.0	11.5
2. 自営業・家族従業者	2.9	3.5	2.0
3. 自由業・個人事業	5.4	4.8	6.1
4. 家庭内労働・内職	0.0	0.0	0.0
5. 常勤の勤め人・部課長以上	13.1	3.2	27.8
6. 常勤の勤め人・一般	31.0	28.0	35.7
7. パート・アルバイト・臨時の勤め人	13.2	18.9	4.8
8. 派遣社員（登録派遣）	2.2	3.3	0.5
9. 家事専業	15.6	26.4	0.0
10. 無職	6.4	5.8	7.3
11. 学生	2.6	2.3	3.0
無回答	1.0	0.7	1.3

＜問６で「１」～「８」とお答えの方に＞

問６－１　あなたが、働いている理由はどのようなことでしょうか。（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,031	524	493
1. 生計を維持するため	71.3	55.9	87.8
2. 生活費補助のため	15.5	24.2	6.5
3. 将来に備えて貯金するため	26.3	26.0	27.0
4. 自分で自由になる収入がほしいため	21.6	30.3	12.4
5. 自分の能力、技能、資格を生かすため	27.8	29.2	26.8
6. 働くことが好きだから	13.8	16.4	11.0
7. 視野を広めたり、友人を得るため	9.7	13.2	5.9
8. 社会的な信用を得るため	9.8	7.4	12.4
9. 働くのがあたりまえだと思うから	33.5	24.0	42.6
10. 家業だから	4.2	4.4	3.9
11. 時間的に余裕があるから	3.7	5.2	2.0
12. その他	4.4	5.9	2.8
無回答	0.4	0.2	0.6

＜問６で「１」～「８」とお答えの方に＞

問６－２　あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、女性に対して次のようなことがありますか。（○はあてはまるものすべて）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,031	524	493
1. 賃金に男女差がある	10.3	11.3	9.3
2. 昇進、昇格に男女差がある	15.3	15.1	15.2
3. 能力を正当に評価しない	11.4	16.0	6.3
4. 配置場所が限られている	11.5	7.1	16.0
5. 補助的な仕事しかやらせてもらえない	3.6	4.0	3.0
6. 女性を幹部職員に登用しない	9.1	8.4	9.5
7. 結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある	4.2	5.2	2.8
8. 中高年以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある	2.4	2.9	1.8
9. 教育・研修を受ける機会が少ない	6.4	9.2	3.4
10. その他	5.6	5.9	5.5
11. 特にない	53.8	51.7	56.8
無回答	5.7	6.1	4.9

＜現在働いていない方のみ回答＞

問７　あなたは、今までに仕事についたことがありますか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	340	280	58
1. 仕事についたことがある	87.4	90.7	70.7
2. 仕事についたことはない	8.5	5.0	25.9
無回答	4.1	4.3	3.4

＜現在働いていない方のみ回答＞

問８　あなたが、現在働いていない理由は、次のどれにあたりますか。（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	340	280	58
1. 働かなくても経済的に困らない	31.2	32.9	22.4
2. 家事・育児に専念したい	22.1	26.1	0.0
3. 家事・育児と両立できない	17.4	20.4	0.0
4. 高齢者や病人の介護・看護と両立できない	6.8	6.8	6.9
5. 健康に自信が持てない	15.9	15.7	17.2
6. 職業能力に自信が持てない	6.8	7.1	5.2
7. 希望や条件にあう仕事が見つからない	13.8	14.6	10.3
8. 趣味や社会活動など他にやりたいことがある	11.2	12.5	5.2
9. 家族の反対がある	3.2	3.9	0.0
10. 家族の転勤や転居がある	5.0	6.1	0.0
11. 求職に年齢制限がある	8.8	8.6	10.3
12. 高齢だから	14.1	11.4	27.6
13. 求職活動中だから	6.8	5.4	13.8
14. 扶養家族の方が有利だから	1.2	1.4	0.0
15. その他	17.4	15.0	29.3
16. 特に理由はない	2.6	2.5	3.4
無回答	3.8	4.3	1.7

＜現在働いていない方のみ回答＞

問９　あなたは、今後仕事や社会活動をしたいと思いますか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	340	280	58
1. 常勤で働きたい	14.7	11.4	31.0
2. パートで働きたい	26.8	29.6	12.1
3. 自分で事業をはじめたい（起業）	7.4	6.8	10.3
4. 自宅や身近な場所などでインターネットを通じて仕事をする“ＳＯＨＯ”や“テレワーク”で働きたい	2.6	2.5	3.4
5. 非営利活動団体（ＮＰＯ、ＮＧＯ等）で活動したい	3.8	2.9	8.6
6. 家の仕事（家業）を手伝いたい	1.2	1.1	1.7
7. したいができないと思う	18.8	21.4	6.9
8. 働きたいと思わない	19.4	18.2	24.1
無回答	5.3	6.1	1.7

問１０　女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのは次のどれですか。
（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 仕事はもたない	0.2	0.0	0.5
2. 結婚するまでは仕事をもつが、結婚後はもたない	2.2	1.9	2.9
3. 子どもができるまでは仕事をもち、その後はもたない	8.5	7.2	10.6
4. 子育ての時期だけ一時やめて、その後はまた仕事をもつ	50.6	51.9	48.7
5. 結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事をもつ	26.9	27.9	25.1
6. その他	9.2	9.3	9.5
無回答	2.3	2.0	2.7

問１１　女性が長く働きつづけることを困難にしたり、障害になっている理由はどんなことだと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 育　児	60.7	57.7	65.2
2. 子どもを預けるところ（保育園）がない	68.9	69.4	68.5
3. 高齢者や病人の介護・看護	41.6	48.5	31.5
4. 子どもの教育	18.1	17.7	19.0
5. 家　事	28.2	28.6	27.6
6. 夫の転勤	24.0	26.7	20.6
7. 家族の無理解	24.3	26.8	20.1
8. 職場での結婚・出産退職の慣行	22.5	23.5	21.0
9. 育児休業や再就職など、長く働き続けるための職場の条件・制度が不十分	55.8	58.9	51.6
10. 昇進・教育訓練などでの男女の不公平な取り扱い	13.9	14.9	12.4
11. 女性はすぐやめる、労働能力が劣るという考え方	20.8	22.7	17.9
12. その他	5.8	5.9	5.6
13. 障害、困難になるものはない	0.9	0.2	2.0
14. わからない	2.2	2.5	2.0
無回答	0.7	0.5	0.9

【仕事と子育て】

問１２　仮に、あなたやあなたの配偶者がこれから出産する場合、あなたは育児休業制度を利用しますか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 利用する	54.9	64.2	41.0
2. 利用しない	18.4	10.6	29.9
3. わからない	22.8	21.4	25.3
無回答	3.8	3.8	3.8

＜問１２で「２．利用しない」とお答えの方に＞

問１２－１　育児休業制度を利用しない理由は次のどれですか。（○は２つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	255	86	167
1. 職場に迷惑がかかる	33.7	29.1	36.5
2. 職場の環境が育児休業を取得できる雰囲気ではない	29.4	29.1	29.9
3. 復帰後、職場に対応できるか不安がある	12.5	19.8	9.0
4. 元の仕事（職場）に復帰できるとは限らない	9.4	14.0	7.2
5. 昇進・昇格への影響が心配	5.5	0.0	8.4
6. 収入が減少する	22.0	8.1	28.7
7. 必要性を感じない	14.5	9.3	17.4
8. その他	18.4	25.6	14.4
9. 特に理由はない	3.9	3.5	4.2
無回答	0.0	0.0	0.0

問１３　育児休業制度をさらに利用しやすくしていくためには、どんなことが必要だと思いますか。（○は２つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 事業主や上司の理解	37.9	33.2	44.8
2. 職場内の理解を深めていくこと	31.9	32.0	31.9
3. 休業中の経済的支援	25.1	20.2	32.1
4. 休業期間の延長	4.3	4.8	3.4
5. 短時間勤務制度等休業後、職場復帰しやすい体制の整備	30.9	35.8	24.0
6. 休業中の情報提供、職場復帰研修の実施	4.0	4.4	3.4
7. 代替職員の確保のための援助制度の充実	7.8	6.7	9.5
8. 休業後、スムーズに保育所等に入所できる体制の整備	33.1	42.0	19.9
9. 育児休業制度についての行政機関等の普及啓発	6.6	5.4	8.4
10. その他	3.3	2.5	4.7
11. 特にない	1.0	0.7	1.4
12. わからない	3.1	3.1	3.2
無回答	1.1	0.9	1.3

問１４　子育てと仕事の両立を図るために、職場においてどのような制度や支援策の充実が必要だと思いますか。（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 妊娠中や育児期間中の勤務軽減（フレックスタイム制度や短時間勤務制度など）	56.6	56.3	57.2
2. 育児休業制度や再雇用制度の普及促進及び円滑に利用できる環境づくり	35.3	35.2	35.3
3. 子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度	49.4	55.8	40.0
4. 勤務先に保育施設を設置する	23.7	23.5	24.0
5. 男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性も参加できる環境づくり	27.9	24.8	32.8
6. 子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めていくこと	31.0	32.7	28.9
7. 女性の就労継続に対する企業の理解や支援	26.6	27.4	25.4
8. その他	3.0	2.6	3.2
9. 特にない	1.1	0.7	1.6
10. わからない	2.5	2.8	2.0
無回答	1.1	0.7	1.4

問１５　子育てと仕事の両立を図るために、区ではどのような施策が必要だと思いますか。（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 保育園の多様な運営（長時間保育、病後児保育等）	86.8	86.8	87.3
2. 地域の中で子育てをする仕組み	40.4	39.1	42.3
3. 企業などに対する啓発	36.3	36.8	35.7
4. 相談場所の開設	21.1	19.5	23.3
5. 情報交換できる場所の提供	22.6	22.3	22.6
6. その他	5.6	5.4	5.7
7. わからない	3.8	4.6	2.7
無回答	1.2	1.0	1.1

【介護について】

問１６　あなたご自身が高齢になり介護が必要になったときは、誰に介護をしてほしいですか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 配偶者	24.7	15.9	37.5
2. 娘	6.9	9.6	3.2
3. 息子	1.4	1.0	2.0
4. 息子の妻	0.0	0.0	0.0
5. その他の家族	0.9	1.4	0.4
6. 友人・隣人	0.4	0.4	0.2
7. 公的・民間サービスを利用する	47.7	55.6	36.6
8. その他	1.8	1.6	2.2
9. わからない	13.4	12.1	15.2
無回答	2.9	2.5	2.9

問１７　これからは公的・民間サービスの整備とともに、男性も共に介護を担うことが求められます。男性の介護への参加を進めるためには、どのようなことが必要だと思われますか。（○は２つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 男性が取りやすいような介護休暇制度を整備する	65.8	65.1	67.2
2. 男性が気軽に参加できるような介護講座を開催する	21.2	21.5	20.8
3. 男性の理解と協力を得るための啓発活動を行う	22.8	28.6	13.8
4. 労働時間を短くしたり、在宅勤務、フレックスタイムの導入などを企業に働きかける	54.7	53.7	56.5
5. 女性が男性に介護への参加を強く要望する	1.5	1.4	1.8
6. 介護は今まで通り、女性が中心となって行うべきで、男性の参加は必要ない	0.5	0.6	0.4
7. その他	3.0	2.6	3.8
8. わからない	5.1	4.4	5.9
無回答	1.4	1.1	1.4

問１８　介護の担い手はどうあるべきだと思いますか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 介護は体力が必要なので男性が積極的に取り組むべきである	13.2	14.1	12.4
2. 男性も女性と同じように取り組むべきである	43.2	42.3	44.1
3. 女性に過剰な負担がかからないように男性も出来るだけ介護にかかわるほうがよい	30.2	31.6	28.3
4. 労働時間の現状などからみて、女性に負担が集中するのはやむを得ない	2.8	2.0	3.9
5. 介護は女性の役割だと思う	0.1	0.1	0.2
6. その他	3.7	3.6	3.9
7. わからない	3.5	3.1	3.9
無回答	3.3	3.2	3.2

【女性の人権】

問１９　あなたは､｢配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律｣(＝ＤＶ防止法）をご存知ですか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 法律名も内容も知っている	34.3	32.3	37.8
2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	53.3	55.2	50.4
3. 知らない	11.5	12.0	10.6
無回答	0.9	0.5	1.3

問２０　あなたは、「ドメスティック・バイオレンス＝夫婦（事実婚・離婚後も含む）や恋人という親しい関係で生じる暴力、人権侵害」についてどのようにお考えですか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. １００%加害者に責任があり、許せないものである	51.0	55.4	44.8
2. 加害者に責任があるとしても、被害者側にも原因の一端があると思う	34.6	31.2	39.4
3. 双方の関係の問題であり、周りがとやかく言うべきではない	3.8	2.6	5.4
4. その他	3.2	3.0	3.6
5. わからない	5.8	6.5	4.8
無回答	1.7	1.2	2.0

問２１　あなたがこの中で、ドメスティック・バイオレンスだと思うものはどれですか。
（○はあてはまるものすべて）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 命の危険を感じるような暴力行為	97.2	97.9	96.6
2. 髪を引っ張る、物を投げつける等、身体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為	95.3	95.8	94.8
3. 大声でどなる、無視する	70.8	73.6	66.7
4. 人前でバカにする、「誰のお陰で暮らせるんだ」と言う	72.7	73.3	72.0
5. 大切にしているものを壊す	69.5	69.6	69.2
6. 見たくないのにポルノビデオや雑誌を見せる	64.5	66.2	62.2
7. 性行為を強要する	79.4	83.5	73.8
8. 避妊に協力しない	66.0	68.1	63.1
9. わずかな生活費しか渡さない、仕事に就くことを禁止する	69.3	71.7	65.8
10. 友人や実家との付き合いを禁止する	69.3	71.6	66.1
11. 外出先をチェックする、封書やメールを無断で見る	58.8	61.0	55.7
12. その他	2.7	2.6	2.9
13. 特にない	0.4	0.4	0.5
無回答	1.2	1.0	1.3

問２２　「ドメスティック・バイオレンス」に対する対策や支援として、特にどのようなものを充実すべきだと思いますか。（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 家庭内であれ暴力は犯罪であるという意識の啓発	50.2	49.4	51.1
2. いざという時に駆け込める緊急避難場所の整備	57.5	58.0	57.0
3. 緊急時の相談体制の充実	28.6	25.4	33.5
4. 住居や就労あっ旋、経済的援助など、生活支援の充実	22.6	28.1	14.9
5. カウンセリングや日常的な相談など、精神的援助の充実	21.2	20.9	21.5
6. 関係機関やスタッフの充実	8.0	6.8	10.0
7. 関連機関の紹介や暴力への対応方法など、いろいろな情報の提供	10.4	11.4	8.8
8. 離婚調停への支援など、法的なサポートの充実	19.5	20.7	18.1
9. 加害者に対する厳正な対処	35.5	34.2	37.6
10. カウンセリングなど、加害者の更生に関する対策の充実	12.0	13.0	10.0
11. 裁判所、病院、住居探し等への同行支援	9.5	11.0	7.2
12. その他	1.9	1.4	2.5
13. わからない	1.9	2.1	1.6
無回答	0.9	1.0	0.7

【社会参加】

問２３　あなたは、日常的に交流の持てるグループやサークル、団体などの、自主的な活動に参加していますか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 参加している	34.9	37.2	31.9
2. 参加していない	59.2	57.0	62.2
無回答	5.8	5.8	5.9

＜問２３で「１．参加している」とお答えの方に＞

問２３－１　参加されているのは、どのような活動内容ですか。（○はあてはまるものすべて）

	全　体	女　性	男　性
全　体	484	301	178
1. スポーツ活動	42.6	38.2	49.4
2. 趣味的活動	46.1	49.2	41.6
3. 学習活動	9.1	10.6	6.7
4. ボランティア・福祉活動・ＮＰＯ活動	14.3	14.3	14.0
5. 自治会・町内会活動	8.7	6.6	12.4
6. ＰＴＡ・子ども会活動	15.1	19.9	6.7
7. 消費者活動	1.0	1.3	0.6
8. その他	4.3	4.7	3.4
無回答	0.0	0.0	0.0

＜問２３で「２．参加していない」とお答えの方に＞

問２３－２　参加されていないのは、どのような理由からですか。（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	820	462	347
1. 時間に余裕がないから	54.1	49.4	59.7
2. 情報がないから	21.1	18.8	23.3
3. 子どもが小さいから	8.7	11.0	5.8
4. 個人で活動する方が好きだから	21.7	20.6	23.6
5. 仲間がいないから	8.4	8.2	8.9
6. 高齢者や病人の介護・看護があるから	2.8	3.0	2.6
7. 経済的に余裕がないから	15.2	16.7	13.5
8. 近くに活動する場所がないから	9.6	9.7	9.2
9. 家族が反対するから	0.7	1.1	0.3
10. 自分自身どんな活動がしたいかわからないから	19.5	19.3	19.9
11. 関心がないから	24.4	26.0	22.5
12. その他	4.5	5.0	4.0
無回答	0.7	0.6	0.9

問２４　あなたは、『男女共同参画センター“らぷらす”』をご存知ですか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 利用したことがある	1.8	2.5	0.9
2. 知っているが、利用したことはない	11.8	15.7	6.5
3. 知らない	85.3	80.6	91.9
無回答	1.1	1.2	0.7

問２５　区では男女共同参画を推進するために、『男女共同参画センター“らぷらす”』などを通じて以下のような事業展開をしています。この中で、特に重点的に行うべきだと思われる事業はどれでしょうか。（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 男性の家事への参画、新しい生き方などを啓発する事業（例　男性向け家事・育児・介護セミナー等）	40.6	43.2	37.3
2. 女性の就業支援を目的とした事業（例　女性向け就職セミナー、起業セミナー、キャリアカウンセリング相談等）	42.3	47.8	34.6
3. 最新の社会問題を扱う事業（例　ストーカー、ＤＶ防止啓発物発行等）	29.0	28.3	30.1
4. 情報紙らぷらす・ＦＭ世田谷などの媒体を利用した、情報提供・意識啓発	14.6	13.6	15.9
5. 行政と区民・区民団体とが協働で実施する事業	16.5	14.8	19.2
6. 地域での社会活動をはじめるきっかけづくりを目的とした事業	24.7	24.7	24.7
7. 家庭、仕事、人間関係などで生じた問題を中心とした、相談事業の実施	21.9	19.1	25.6
8. 男女共同参画に関する図書・資料の提供や、区民・区民団体の活動場所の提供	8.3	7.8	9.1
9. 女性の地位向上等を啓発する事業（例　男女共同参画週間イベント等）	4.5	4.6	4.3
10. その他	5.1	4.6	5.9
無回答	5.6	5.2	5.7

【男女平等】

問２６　あなたは、次のような面で男女の地位が平等になっていると思いますか。（ア）～（オ）のそれぞれについて、あなたの感じ方に近いものを選んでください。
（○はそれぞれ１つずつ）

		全体	平等になっている	ほぼ平等になっている	平等になっていない	わからない	無回答
（ア）家庭生活では	全体	1,385	16.7	40.5	35.3	6.5	1.0
	女性	810	12.6	37.8	41.7	6.7	1.2
	男性	558	22.6	44.6	26.0	6.3	0.5
（イ）職場では	全体	1,385	8.4	33.1	46.1	11.0	1.3
	女性	810	6.9	28.4	49.6	13.6	1.5
	男性	558	10.8	40.3	40.9	7.2	0.9
（ウ）教育の場では	全体	1,385	24.8	44.5	13.1	16.0	1.6
	女性	810	19.6	45.8	14.2	18.4	2.0
	男性	558	32.1	43.0	11.5	12.5	0.9
（エ）社会参加の場では	全体	1,385	8.6	34.4	38.3	17.1	1.6
	女性	810	4.6	32.1	41.2	20.4	1.7
	男性	558	14.2	38.2	34.6	11.8	1.3
（オ）全体として、現在の日本では	全体	1,385	2.3	24.8	63.4	8.3	1.2
	女性	810	0.9	17.9	70.2	9.6	1.4
	男性	558	4.3	35.1	53.4	6.5	0.7

問２７　あなたは、女性の意見が行政にどの程度反映されていると思いますか。（○は１つだけ）

	全体	女性	男性
全体	1,385	810	558
1. 十分反映されている	3.5	0.7	7.5
2. ある程度反映されている	35.7	28.6	45.9
3. あまり反映されていない	34.9	40.6	26.5
4. ほとんど反映されていない	7.1	9.5	3.4
5. わからない	16.6	17.9	15.2
無回答	2.2	2.6	1.4

＜問２７で「３」か「４」をお答えの方に＞

問２７－１　反映されていない理由は何だと思いますか。（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	582	406	167
1. 女性議員が少ない	34.7	31.8	41.9
2. 行政機関の管理・監督者に女性が少ない	37.3	37.2	37.7
3. 政策決定にかかわる審議会などへの女性の参加が少ない	29.7	29.8	30.5
4. 女性自身が消極的	21.5	21.9	19.2
5. 男性の意識、理解が足りない	55.8	57.6	52.1
6. 社会のしくみが女性に不利	44.5	46.1	39.5
7. 女性の能力に対する偏見がある	27.0	27.6	25.1
8. その他	6.5	7.6	3.6
無回答	0.2	0.2	0.0

問２８　今後さらに、女性と男性が家庭や地域社会へ参画していくことで、どのような変化がもたらされると思いますか。（○はあてはまるものすべて）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 仕事を優先する人が減り、日本経済の活力が衰える	6.8	4.8	9.9
2. 企業が男性の家事などへの参画の重要性を認識することにより、労働時間短縮や休暇制度の整備が進む	45.0	45.6	44.4
3. 仕事と家庭生活のバランスがとれた生き方ができる男性が増える	53.8	52.5	55.7
4. 女性の家事負担が減り、女性の就労や社会参加が容易になる	43.1	42.0	44.6
5. 男性の家庭や社会に対する理解が深まり、視野が広がる	44.0	46.3	40.3
6. 子育てや介護が十分に行われなくなる	7.3	5.9	9.1
7. 家庭における夫婦や親子の絆が深まる	33.9	34.7	33.2
8. 企業内での昇進の遅れなどにより、収入が減る	9.6	8.9	10.8
9. 人々の地域社会に対する親しみや連帯感が深まる	24.0	23.0	25.8
10. 男らしさや女らしさが否定される	6.8	5.6	8.6
11. 伝統的な家庭観が希薄になる	17.0	14.7	20.6
12. 女性の負担が増える	5.2	5.1	5.4
13. その他	2.8	1.9	4.1
14. わからない	8.6	9.1	7.9
無回答	1.1	1.2	0.5

問２９　女性の地位を向上させて男女共同参画社会の実現を図るために、今後、行政はどのようなことに力をいれるとよいと思いますか。（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 学校で平等意識を育てる教育の充実	26.3	26.4	26.5
2. 男女平等への理解を深めるための学習機会の促進	10.9	10.7	11.1
3. 女性問題に関する情報提供、交流会・相談・研究などの充実	6.7	5.9	8.1
4. 女性の職業教育・訓練の機会の充実	12.9	13.5	12.0
5. 就労機会や労働条件の男女格差を是正するための働きかけ	28.0	29.0	26.7
6. 育児・保育施設の充実	61.8	62.1	62.0
7. あらゆる分野における女性の積極的な登用	25.1	26.5	22.9
8. 行政の政策決定などへの女性の参画促進	10.6	11.0	10.0
9. 高齢者や病人の在宅介護サービスや施設の充実	36.5	38.6	33.7
10. 検診体制や相談などの健康管理システムの充実	4.6	5.1	3.9
11. 女性問題に関する国際的な交流・情報収集の促進	4.8	5.2	4.3
12. 男女平等に関する施策の国・都への働きかけ	12.7	13.1	11.5
13. その他	4.3	3.6	5.0
14. 特にない	4.3	3.3	5.9
無回答	1.2	1.4	0.5

【仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について】

問３０　あなたの生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度についておたずねします。あなたの希望に近いものはどれですか。現在仕事をしていない方もお答えください。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 「仕事」を優先したい	4.8	2.5	7.9
2. 「家庭生活」を優先したい	19.9	22.7	15.8
3. 「地域・個人の生活」を優先したい	3.5	3.1	4.1
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	34.2	30.0	40.0
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	3.8	2.8	5.0
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	11.0	14.6	6.3
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域生活」をともに優先したい	20.3	21.6	18.6
8. わからない	1.6	1.9	1.3
無回答	1.0	0.9	1.1

問３１　問３０の考え方に対して、あなたの現実（現状）に近いものはどれですか。
（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 「仕事」を優先している	30.5	20.4	44.6
2. 「家庭生活」を優先している	23.1	33.3	8.4
3. 「地域・個人の生活」を優先している	3.8	2.7	5.2
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	24.1	22.0	27.4
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	3.5	2.5	5.0
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	6.0	9.4	1.3
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域生活」をともに優先している	4.9	6.0	3.2
8. わからない	3.1	3.0	3.4
無回答	1.1	0.7	1.4

問３２　今後、仕事と生活の調和を図る上で、何が重要だとお考えですか。
（○は３つまで）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 保育サービスや介護サービスなど、育児・介護に関する社会的サポートの充実	55.9	64.0	45.0
2. 育児・介護休業取得に対する職場の上司・同僚の理解浸透	26.8	29.3	23.5
3. 職場の両立支援制度の充実	31.5	33.0	29.7
4. 両立支援制度の利用の促進	14.3	14.9	13.3
5. 法律や制度の充実	20.6	18.6	23.5
6. 長時間勤務の見直し	35.2	31.1	41.9
7. 地域で、日常的に交流の持てるグループやサークル、団体などの自主的な活動に参加できる場の充実	7.8	6.7	9.3
8. 家族のサポートや家族の意識改革	17.8	23.2	9.5
9. 個人の意識改革や努力	19.9	14.8	27.2
10. その他	3.4	2.3	4.5
無回答	1.9	1.7	2.0

【防災について】

問３３　東日本大震災を経て、防災のまちづくりの一層の推進が課題となっています。あなたは、防災分野で男女共同参画の視点を活かすためには、どのようなことが重要だと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 災害や防災に関する知識の習得を進める	60.1	63.7	55.6
2. 防災分野の委員会や会議に、より多くの女性が参加できるようにする	27.1	24.9	30.3
3. 災害対応や復興においてリーダーとなれる女性を育成する	22.3	22.0	23.1
4. 災害に関する各種対応マニュアルなどに男女共同参画の視点を入れる	36.7	35.2	39.1
5. 消防職員、消防団員、警察官、自衛官などについて、防災現場に女性が十分配置されるよう、採用・登用段階を含めて留意する	28.0	24.2	33.5
6. 避難所設備に女性の意見を反映させる	55.2	57.9	51.6
7. 備蓄品に女性の視点を活かす	56.0	60.6	50.4
8. その他	1.9	2.0	2.0
9. わからない	6.8	7.2	6.5
無回答	1.5	1.0	2.2

【男性相談について】

＜男性の方のみ回答＞

問３４　あなたは、この１年間に、悩みや困りごとについて、誰かに相談したいと思ったことがありますか。（○は１つだけ）

	男　性
全　体	558
1. あった	43.7
2. なかった	52.7
無回答	3.6

問３５　あなたは、下記のような悩みについて、無料で利用できる相談機関（例えば区で実施する相談など）があれば利用すると思いますか。（○はあてはまるものすべて）

	男　性
全　体	558
1. 自身のメンタルヘルス（心の問題）やストレスなどの相談	29.7
2. 生き方、暮らし方などの相談	16.7
3. 結婚や家族（夫婦を含む）など身近な人との間におきた問題についての相談	11.1
4. 育児・子育て・子どもの教育などの相談	15.6
5. 仕事・雇用・転職・再就職・起業などの相談	27.1
6. 健康・病気・障害などの相談	26.2
7. 家計・借金・相続などの相談	20.8
8. 介護についての相談	29.4
9. 利用しない	27.8
10. その他	3.4
無回答	5.2

問３６　相談をするとしたら、相談員は男性・女性のどちらがよいですか。（○は１つだけ）

	男　性
全　体	558
1. 男性	14.7
2. 女性	11.5
3. どちらでもよい	69.0
無回答	4.8

【性的マイノリティ（性的少数者）について】

問３７　あなたは、今まで自分の性別に悩んだことはありますか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. ある	3.1	3.8	2.2
2. ない	94.3	93.8	95.0
無回答	2.6	2.3	2.9

問３８　あなたは、性的マイノリティという言葉をご存知ですか。（○は１つだけ）

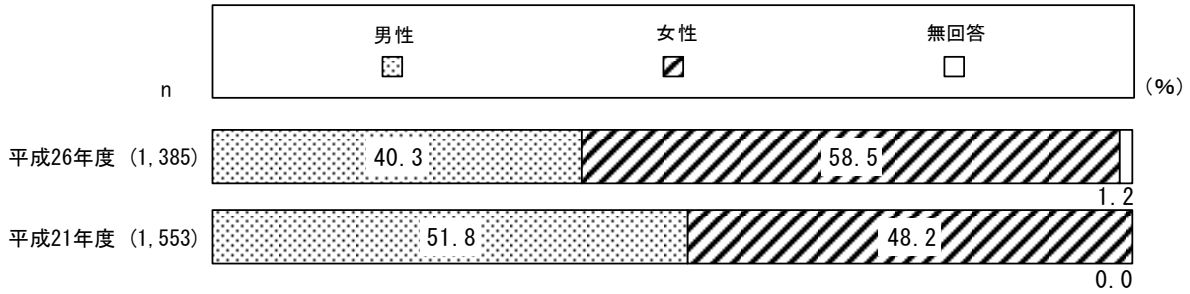
	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 知っている	70.0	67.4	74.4
2. 初めて知った	26.5	29.5	21.7
3. その他	0.7	0.7	0.7
無回答	2.7	2.3	3.2

問３９　あなたは、性的マイノリティの方々の人権を守る啓発や施策について、必要だと思いますか。（○は１つだけ）

	全　体	女　性	男　性
全　体	1,385	810	558
1. 必要だと思う	70.0	74.4	63.3
2. 必要ないと思う	4.3	1.4	8.6
3. わからない	21.5	20.4	23.3
4. その他	1.7	1.5	2.0
無回答	2.6	2.3	2.9

7　回答者の属性

（１） 性別・・・・・・女性が多い

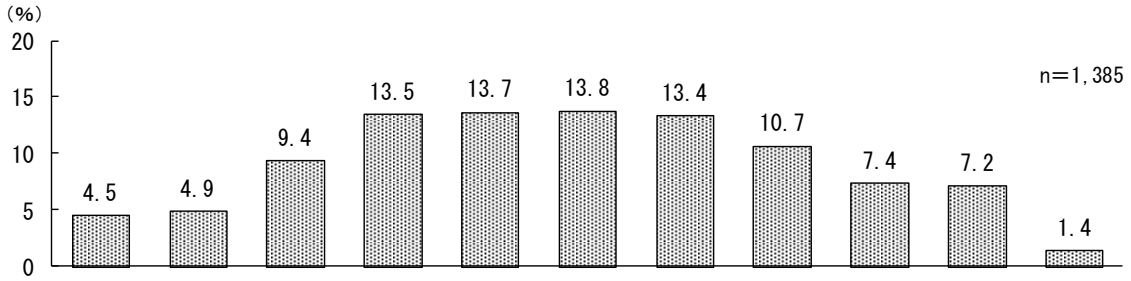


性別は、「女性」が 58.5%、「男性」が 40.3%となっている。

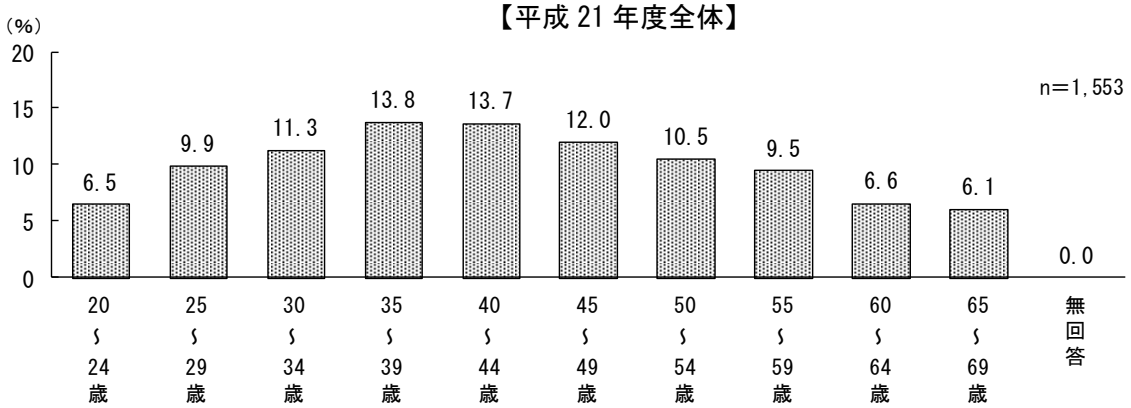
また、平成 21 年度と比較して「男性」が 11.5%減少し、「女性」が 10.3%増加している。

（２） 年齢・・・・・・30 代～50 代がやや多い

【平成 26 年度全体】



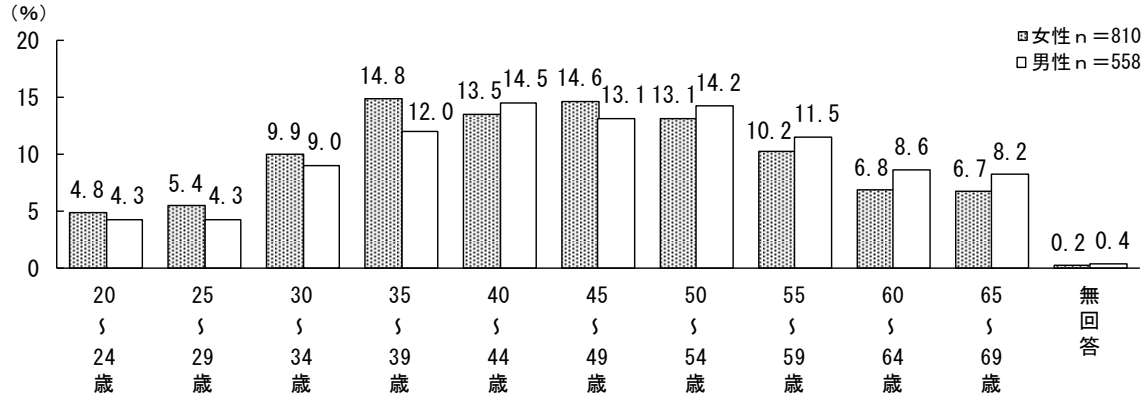
【平成 21 年度全体】



年齢構成は、「40 代」が 27.5%で最も多く、次いで「50 代」が 24.1%、「30 代」が 22.9%と続いている。

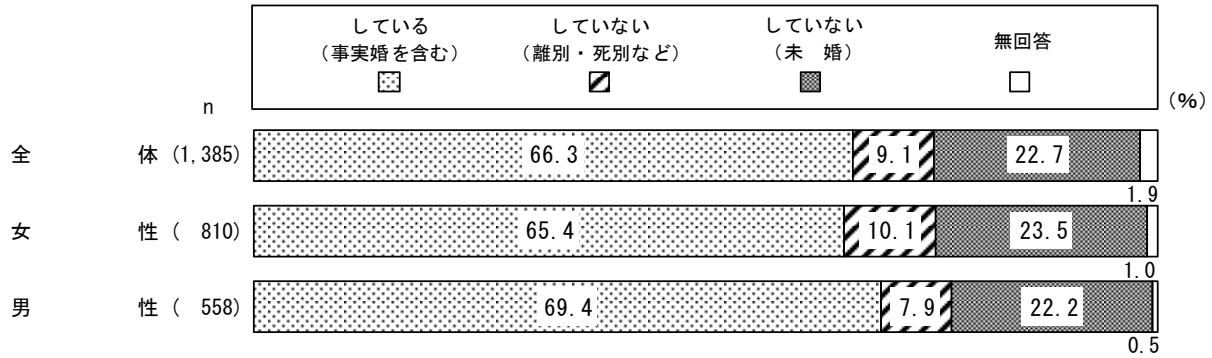
また、平成 21 年度と比較して、「20 代」が減少している。

【年齢（性別）】

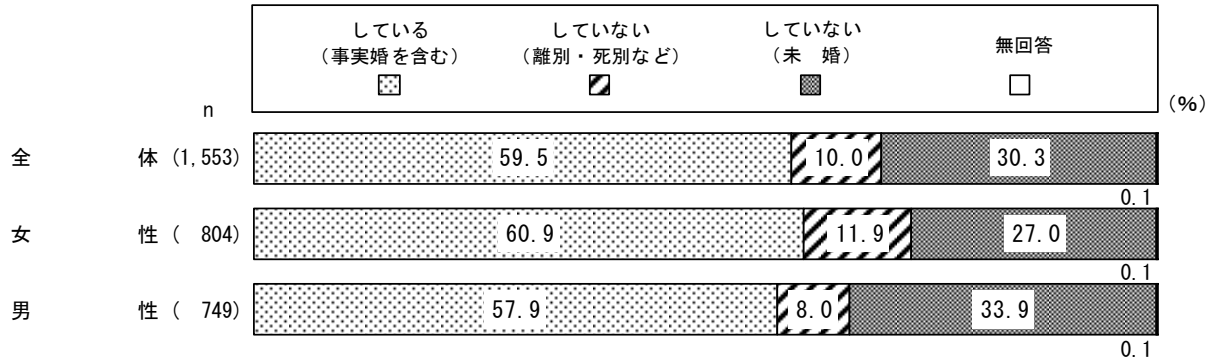


（３） 結婚状況・・・・・・既婚率 75.4%

【平成 26 年度全体】



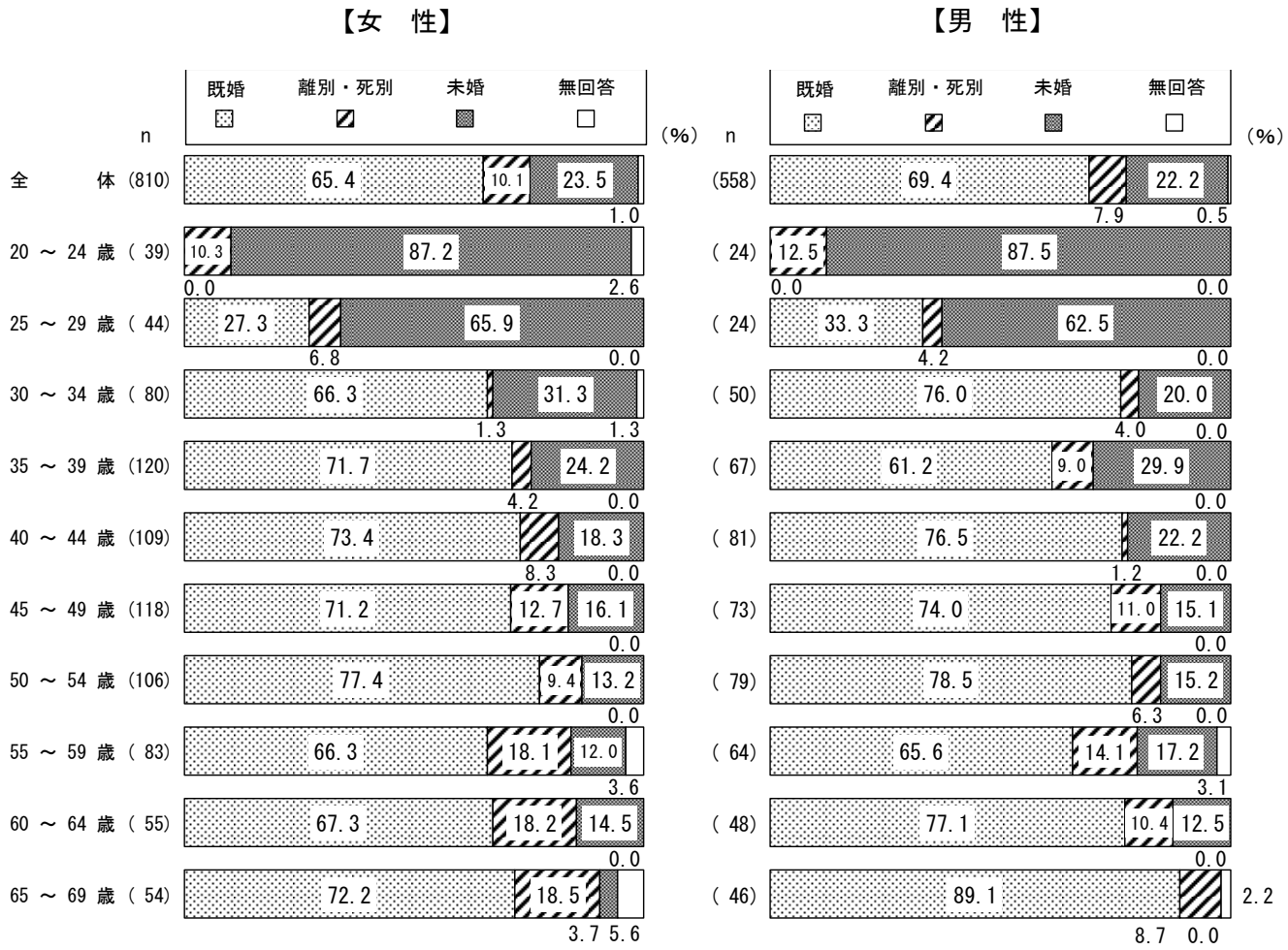
【平成 21 年度全体】



回答者の既婚率（離別・死別を含む）は全体で 75.4%となっている。性別でみると、既婚率は女性 75.5%、男性 77.3%と女性の既婚率が上回っている。

また、平成 21 年度より既婚率で 69.5%から 75.4%と増加しており、特に男性では 65.9%から 77.3%と増加している。

【結婚状況（性・年代別）】


【女　性】
【男　性】
既婚
離別・死別
未婚
無回答
n
(%)
全　体 (810) 65.4 10.1 23.5 1.0
20 ～ 24 歳 (39) 10.3 87.2 0.0 2.6
25 ～ 29 歳 (44) 27.3 6.8 65.9 0.0
30 ～ 34 歳 (80) 66.3 1.3 31.3 1.3
35 ～ 39 歳 (120) 71.7 4.2 24.2 0.0
40 ～ 44 歳 (109) 73.4 8.3 18.3 0.0
45 ～ 49 歳 (118) 71.2 12.7 16.1 0.0
50 ～ 54 歳 (106) 77.4 9.4 13.2 0.0
55 ～ 59 歳 (83) 66.3 18.1 12.0 3.6
60 ～ 64 歳 (55) 67.3 18.2 14.5 0.0
65 ～ 69 歳 (54) 72.2 18.5 3.7 5.6
(558) 69.4 7.9 22.2 0.5
(24) 12.5 87.5 0.0 0.0
(24) 33.3 4.2 62.5 0.0
(50) 76.0 4.0 20.0 0.0
(67) 61.2 9.0 29.9 0.0
(81) 76.5 1.2 22.2 0.0
(73) 74.0 11.0 15.1 0.0
(79) 78.5 6.3 15.2 0.0
(64) 65.6 14.1 17.2 3.1
(48) 77.1 10.4 12.5 0.0
(46) 89.1 8.7 0.0 2.2

【参考　未婚率の推移】

(%)

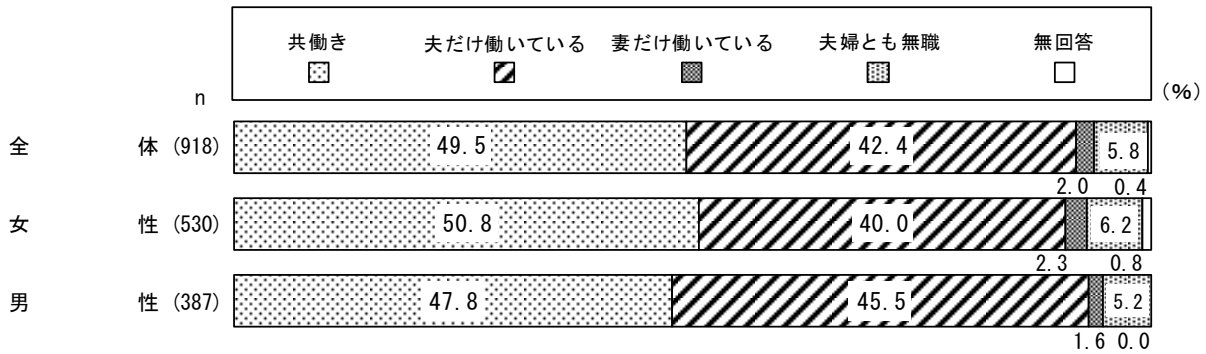
		全体	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
女性	平成26年度	23.5	87	66	31	24	18	16	13	12	15	4
	平成21年度	27.0	87	68	33	30	18	15	6	11	9	10
	平成16年度	22.9	79	55	42	23	12	9	7	9	6	2
	平成12年度	25.3	88	60	29	14	19	7	11	6	6	12
	平成7年度	23.6	90	70	30	11	14	11	7	9	8	5
男性	平成26年度	22.2	88	63	20	30	22	15	15	17	13	0
	平成21年度	33.9	98	68	46	37	25	22	24	7	10	2
	平成16年度	27.3	86	70	46	23	21	10	15	10	6	0
	平成12年度	31.2	83	72	45	24	25	14	8	13	6	2
	平成7年度	32.4	97	80	41	25	19	10	3	18	3	2

※平成7年度は65歳以上にて調査

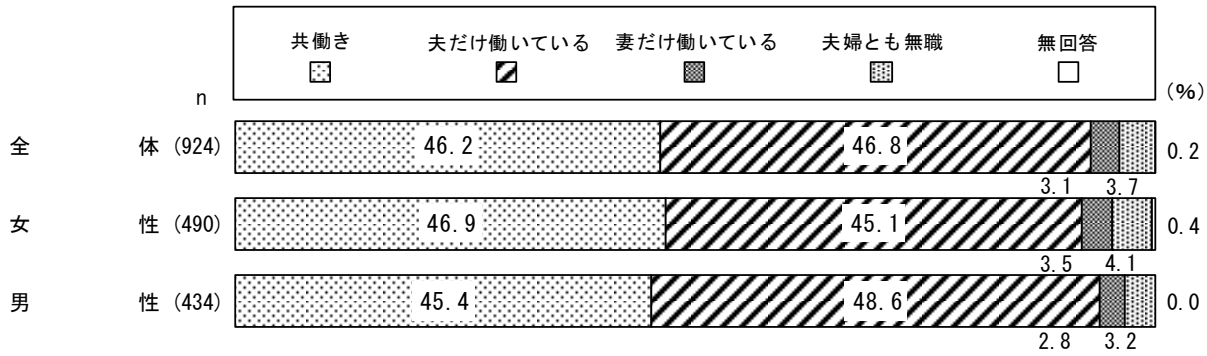
平成7年以降の未婚率の推移をみたものが上の表である。5歳階級別では誤差率が大きいので注意を要するが、20代・30代の未婚率の推移からは、晩婚化がすでに「進行」ではなくむしろ「定着」といえる状態になっている。

（４） 既婚者の配偶者就労状況・・・・・・約５割が共働き

【平成 26 年度全体】



【平成 21 年度全体】

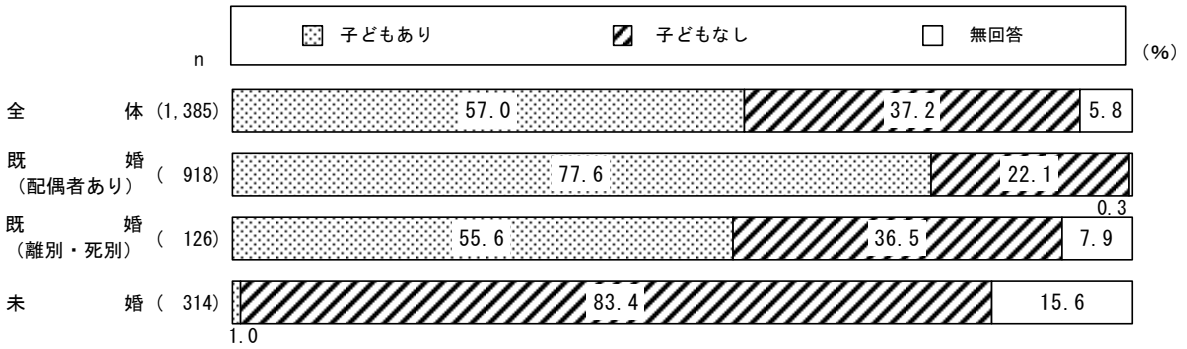


配偶者の就労状況をみると、共働き世帯は 49.5%であり、女性 50.8%、男性 47.8%となっている。

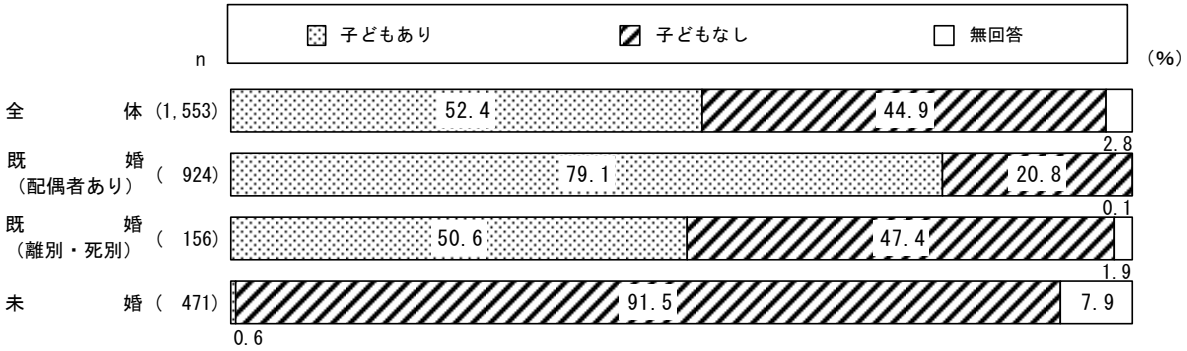
また、平成 21 年度より男女ともに共働き世帯が増加している。

（５） 子どもの有無・・・・・・有配偶者の約７割以上が子どもあり

【平成 26 年度(結婚の状況別)】

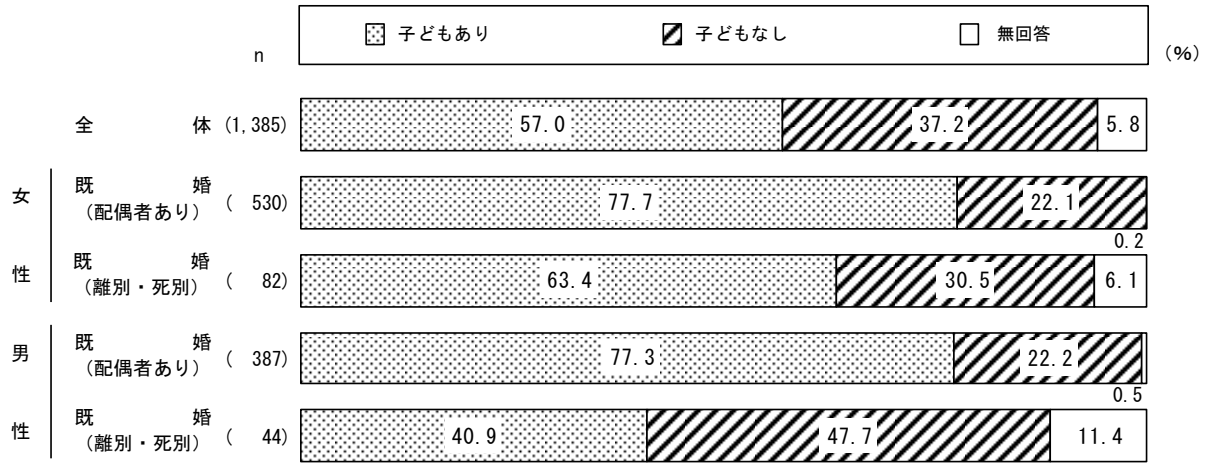


【平成 21 年度(結婚の状況別)】



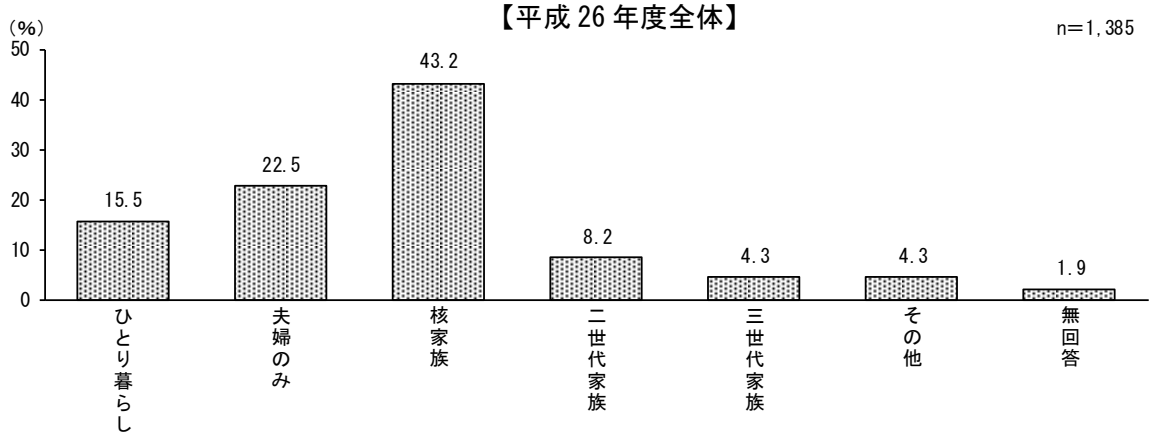
「子どもあり」は 57.0%と過半数に達している。既婚・未婚の別でみると、既婚者のうち配偶者有で 77.6%、離別・死別においても 55.6%が「子どもあり」となっている。
また、平成 21 年度より「子どもあり」で 52.4%から 57.0%と増加している。

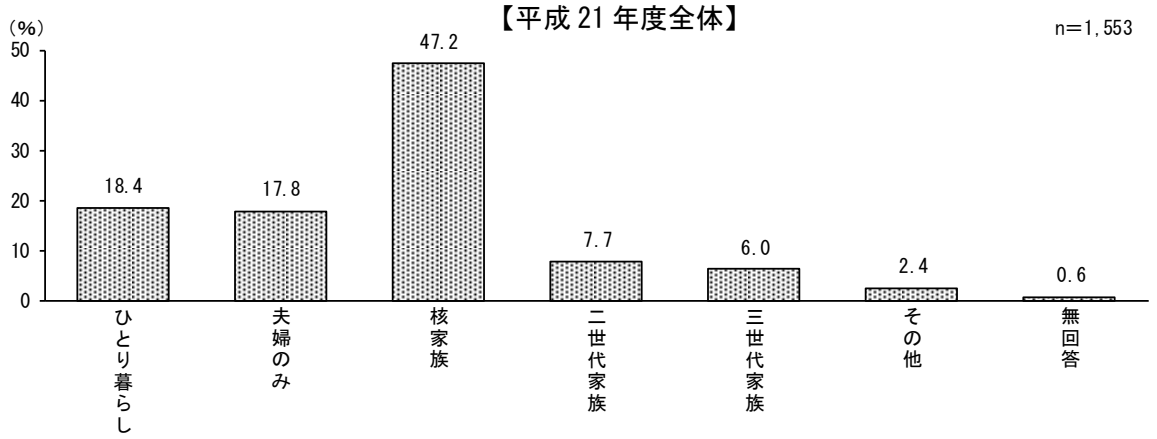
【子どもの有無（性・結婚の状況別)】



男女別にみると、既婚（配偶者有）では性別による違いは少ないが、既婚（離別・死別）では、女性の 63.4%が「子どもあり」なのに対して、男性では 40.9%にとどまり大きな違いが生じている。

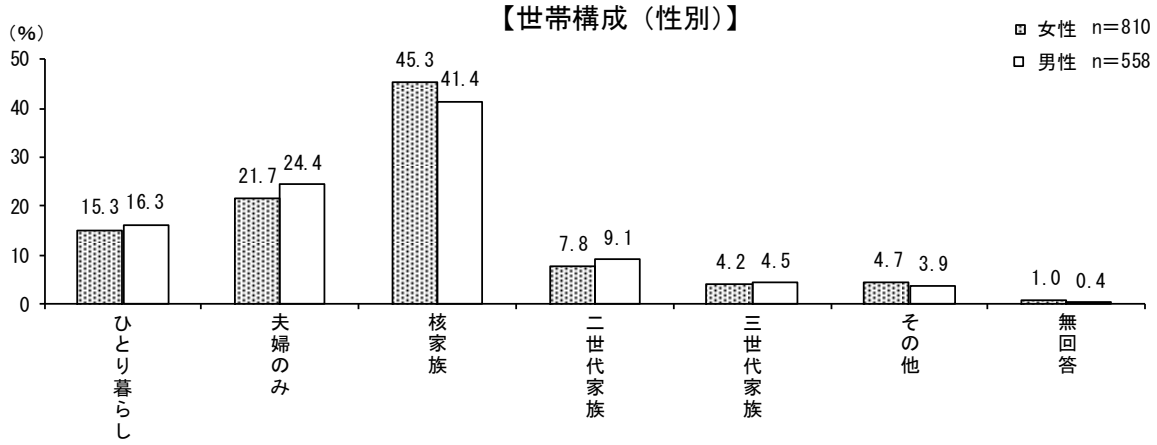
（６） 世帯構成・・・・・・核家族が４割以上を占める





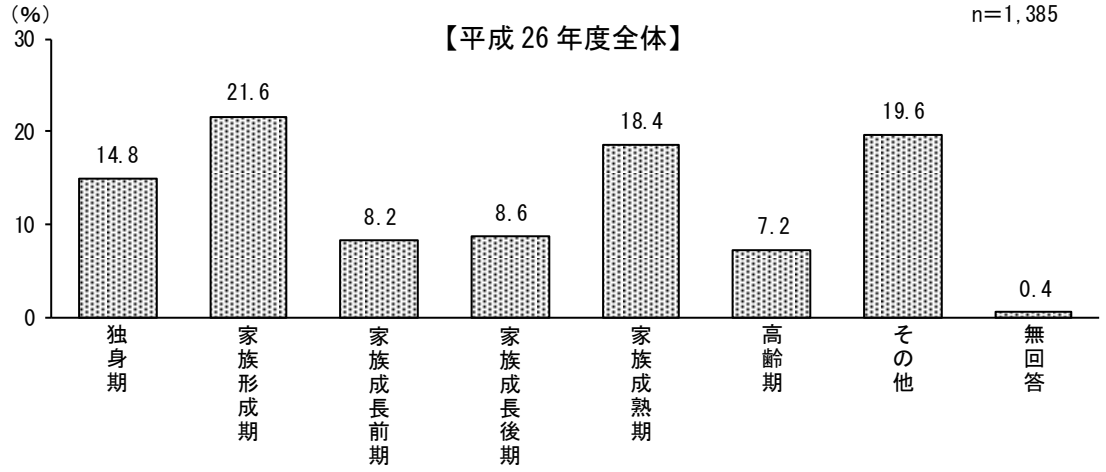
世帯構成は、「核家族」が 43.2%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が 22.5%、「ひとり暮らし」が 15.5%など小家族形態が大半を占めている。

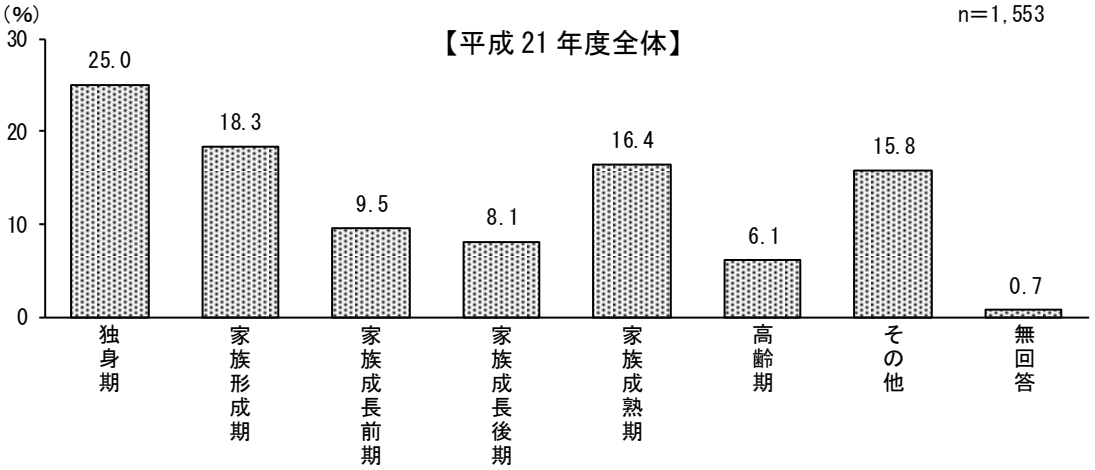
また、平成 21 年度と比較して「夫婦のみ」が 17.8%から 22.5%と増加している。



性別でみると、すべての世帯構成で男女ともに、おおむね同じとなっている。

（７） ライフステージ・・・・・・家族形成期・家族成熟期・その他が多い





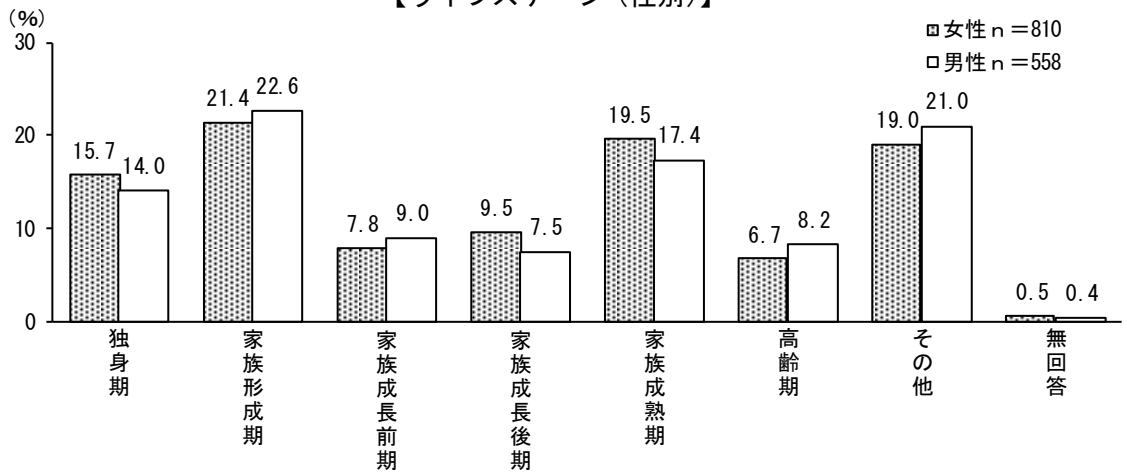
【ライフステージ区分】

独　身　期	20～39歳で単身者
家族形成期	20～39歳で配偶者がいて子どもがいない または、20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前
家族成長前期	20～64歳で一番下の子どもが小学生
家族成長後期	20～64歳で一番下の子どもが中学生・高校生
家族成熟期	20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している
高　齢　期	65歳以上
そ　の　他	40～64歳で単身者 または、40～64歳で配偶者がいて子どもがいない

ライフステージ区分は、「家族形成期」が 21.6%で最も多く、次いで「その他」(19.6%)、「家族成熟期」(18.4%) と続いている。

また、平成 21 年度と比較して、「独身期」が 25.0%から 14.8%と 10.2%と減少している。

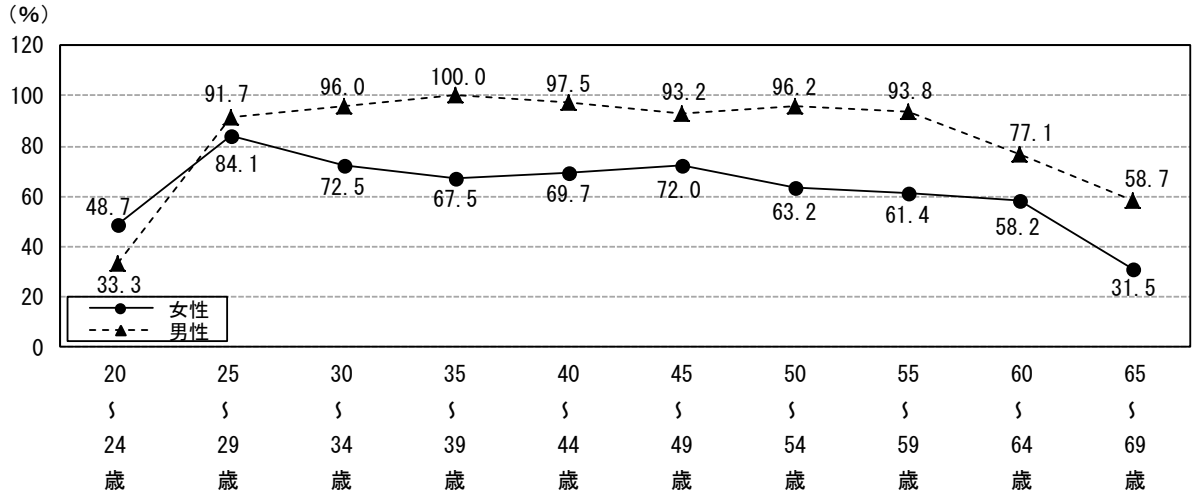
【ライフステージ（性別）】



性別でみると、すべてのライフステージで男女ともに、おおむね同じ割合となっている。

（８） 就労状況・・・・・・女性の就労率は 64.7%

【就労状況（性別）】



女性の就労率（何らかの仕事についている割合）は全体で 64.7%と 6 割を超えている。

女性の就労率を年齢階級別にみると、「25～29 歳」の 84.1%が最も高く、「35～39 歳」の 67.5%まで減少した後、「45～49 歳」で 72.0%に増加しており、緩やかなM字カーブを描いている。

【就労状況（就労率の推移）】

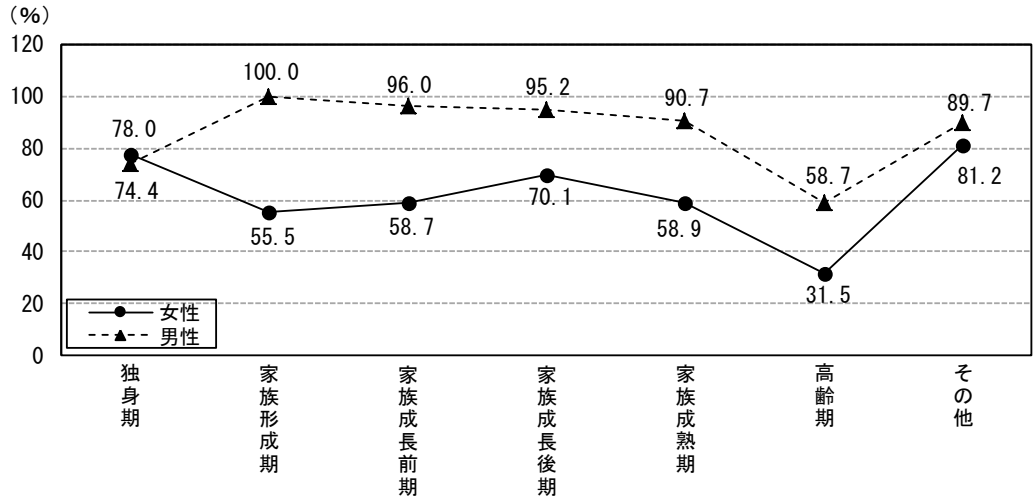
（%）

		全体	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
女性	平成26年度	64.7	49	84	73	68	70	72	63	61	58	32
	平成21年度	62.5	38	86	70	64	59	71	68	61	45	38
	平成16年度	58.8	49	81	67	68	65	62	59	55	43	31
	平成12年度	54.8	60	76	55	59	61	59	67	54	42	17
	平成7年度	52.8	67	78	53	55	70	70	58	50	42	22
男性	平成26年度	88.4	33	92	96	100	98	93	96	94	77	59
	平成21年度	87.9	44	92	97	96	96	96	91	91	84	62
	平成16年度	87.2	40	90	94	98	97	99	95	95	80	54
	平成12年度	86.6	49	91	93	96	94	99	96	94	60	71
	平成7年度	83.1	47	97	96	95	100	98	99	97	93	50

※平成7年度は65歳以上にて調査

平成 26 年度の全体でみると、「女性」では平成 21 年度と比較して就労状況が 62.5%から 64.7%とやや増加している。

【就労状況（ライフステージ別）】

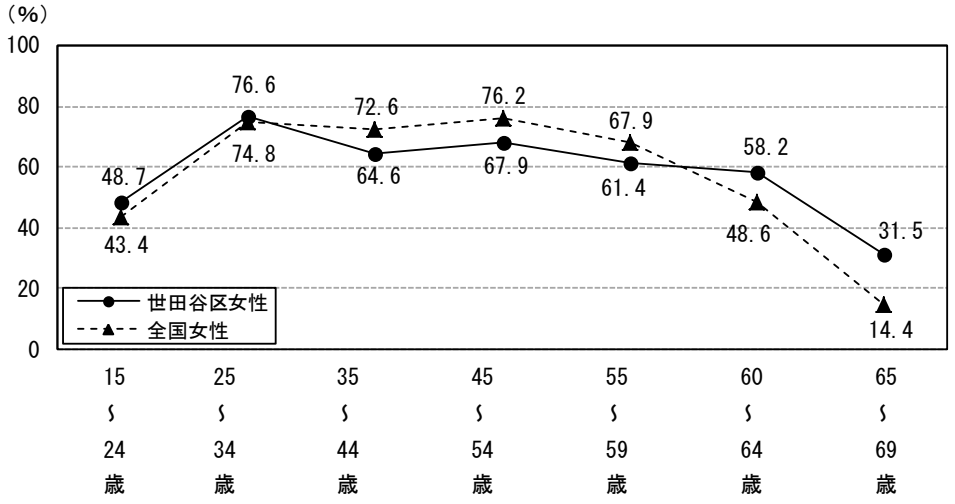


女性のライフステージ別就労率をみると、「独身期」「その他」の割合が高く、次いで「家族成長期後期」、「家族成熟期」と続いている。

また、男性のライフステージ別就労率をみると、「家族形成期」、「家族成長前期」、「家族成長後期」、「家族成熟期」が 9 割以上と高くなっている。

【参考　全国調査では】

【就労率（女性・年齢階級別）】



総務省が実施している「労働力調査（平成 26 年平均値）」の就労率（女性・年齢階級別）をみると、世田谷区女性の就労率は「35～44 歳」、「45～54 歳」、「55～59 歳」で 6%以上低くなっている。一方、「60～64 歳」、「65～69 歳」では 9%以上高くなっている。